

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



3

2020
No.377

[うみ・なかま コミュニケーション]

北 海 道
ぎょれん



特集

平成31年度 北海道昆布漁業に関する懇談会
～女性漁業者懇談会～
ぎょれんの環境対策について紹介します

マチコさんの あさかな コラム

札幌で活躍する2人の管理栄養士の方に、旬の魚をテーマとしたコラムを交互にご寄稿頂きます。

「かれい」

免疫力アップを助ける かれいに注目！

いつもは雪どけした春が待ち遠しい3月ですが、今年は感染症の心配が続いています。日頃からしっかりと食事をとって、免疫力を上げておくことも予防の一つになるでしょう。

最近、私は真がれいや、黒がれいをよく購入しています。かれいは生姜をたっぷり入れて作る煮付けが、一番好みの食べ方。本当のことを言うとかれいを食べられるようになったのは、大人になってから。子供の頃、よく父がかれいを釣りに行っていました。その日の夕食は決まって母が作るのが、かれいの煮付け。当時の私はあの特有の淡泊な味が苦手で、数口食べては父のお膳にこっそり置いていたのを思い出します。

大人になってからは率先して購入し、自ら煮付けを作って食べています。実家に帰省した際も、「かれいの煮付けを作れば喜ぶ」と母が言うほどの変わりよう。不得手だった淡泊な味が、大人の舌にはなんとも上品に感

じるのです。今のシーズンは、細切りにしたウドと一緒に煮たり、菜の花を添えたりするなど春らしい料理にしていきたいです。あとは片栗粉を全体にまぶして揚げ、輪切りにした赤唐辛子と砂糖、酢、しょう油、だし汁で作った南蛮酢をかけて食べるのもいいですね。

かれいはたんぱく質が多く、脂質が少ない魚。たんぱく質は体をつくる大事な構成成分で、免疫物質の原料にもなります。またカルシウムの吸収を助けるビタミンDも豊富。ビタミンDは紫外線によって私たちの皮膚でも合成されますが、紫外線が弱いこの時期は食品から積極的に摂取することが大事。実はこのビタミンD、免疫力を高める働きがあると注目を浴びている栄養素でもあります。

かれいは、免疫力アップに役立つ魚と言えるでしょう。かれいの魅力を再確認したところで、早速今晚の食卓に並べてみてはいかがでしょうか。



肉厚で脂ののったばがれいの煮付け。
ごはんのお供にも酒の肴にもぴったりのおいしさ



うえ さか
上坂マチコ
管理栄養士/アンチエイジング栄養士/
料理家/コラムニスト
テレビ・ラジオ出演、新聞・雑誌など
でコラム連載や栄養監修、レシピ・
スタイリングの提供などを行う。講
演会やメタボ指導、料理講師、短大・
専門学校の非常勤講師など活動は
多岐。ぎょれんと共に、「美容・健康
に役立つ昆布」の情報を全国誌等で
発信。

【うみ・なかま コミュニケーション】

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
March 2020 No.377

3

01 マチコさんのおさかなコラム 「かれい」

02 特集1 平成31年度 北海道昆布漁業に関する懇談会 ～女性漁業者懇談会～

06 特集2 ぎょれんの環境対策について紹介します

08 特集3 第57回 全道漁協青年部大会が開催

10 浜の家族物語 えさん漁協榎法華支所／岡山 潤也さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 なみまるインフォメーション

14 特集4 第29回 漁師さんの出前授業

16 大漁祈願! 浜のほっとニュース

17 みなさんのお便りでつくるページ なみまる おたより箱

表紙の写真
えさん漁協榎法華支所／岡山 潤也さんご家族です。



暖冬も一変、大雪に見舞われた榎法華港



平成31年度 北海道昆布漁業に関する懇談会 ～女性漁業者懇談会～

今回で8回目の開催となる北海道昆布漁業振興協会主催の「北海道昆布漁業に関する懇談会」では、昨年に引き続き、昆布漁業に従事する女性に集まっていただき、昆布漁業を取り巻く諸課題について意見を交わしました。この懇談会は、事前取材を基に、ぎょれん大潟参事の進行で進められました。

また、今年度の懇談会は大阪で開催され、昆布加工の現場や昆布問屋の視察が同時に行われました。今月は、その内容をまとめてご紹介します。

採取について

《出漁日数と資源状況》

川崎（えりも）…えりも岬地区では、昨年の採取日数は21日。天日干しなので、天候不順と風の条件がそろわなければ出漁ができない。昆布が長く、量が多いため乾燥機は向いていない。

南（散布）…散布では昨年30日出ることができた。天気が多少悪くても、ほとんどの人が乾燥機を持っているので、風が良ければ漁に出ている。資源量は明らかに減っており、拾い昆布がなくなった。

高橋（雄武）…実際にねじり昆布を体験したが、本当に大変な仕事だとわかった。若い人なら石も一緒にねじって採れると思うが、年配になれば、本数を少なくねじるようにしか採れないと思う。水揚げの減少は、皆が採るときに、いい昆布を選んで採っており、手間がかかることも影響しているのでは。

濱屋（羅臼）…昨年は夫と一緒に沖に出たが、本当に昆布が生えていない。いつも生えている所に生えてないと感じた。

資源量については、羅臼では、流水の影響もあると思う。

と思う。年にもよるが、丘のほうまで氷が来て昆布が削られると沖に生えているものを採るしかなく、水深に合わせて竿も長くなる分、作業が大変になり量が採れなくなる。

山形（落石）…落石にも流水が来るが、資源が激減している感じはない。ただ、昆布の質自体が、昔から比べればあまり良くないと感じる。付着物が付くようになったが、それらを全て削って出荷となれば、それだけ作業は増える。

月に2日など出漁日数が少ない月もあるので、全体的に昆布の水揚げが上がらない。

熊谷（南かやべ）…昨年、日尻の天然昆布の出漁は1日だけ。磯焼けの状態で、天然昆布はほとんどない。それでも、南かやべは促成昆布と2年昆布を養殖しているので、ある程度の量が確保できている。促成昆布は、ここ10年ほど価格もよいが、それに対する危機感も持っている。

中村（戸井）…夫が自分達でできる分だけ生産するので、基数を減らしている。価格が上がっているから、水揚げ本数が減っても金額的には同じくらい。

熊谷（南かやべ）…本人の年齢や体力の問題もあるが、出面さんが来てくれない。これまで使っ

懇談会出席者

※敬称略

地区出席者

南かやべ漁協 熊谷真理子
戸井漁協 中村キセ子
えりも漁協 川崎 尚子
日高中央漁協 古海 光枝
厚岸漁協 堀 陽子
散布漁協 南 美江子
落石漁協 山形由紀子
羅臼漁協 濱屋 梨沙
雄武漁協 高橋 飛鳥
宗谷漁協 加藤 弘美
船泊漁協 相原 恵子

北海道昆布漁業振興協会

会長 川崎 一好（ぎょれん）
副会長 森 祐（戸井漁協）
副会長 神田 勉（えりも漁協）
副会長 山崎 貞夫（浜中漁協）

北海道漁業協同組合連合会

代表理事常務 本田 勝実
参事 共販部長 大潟 歩
大阪支店 支店長 川崎 喜久
共販部 部長代理 鹿戸 唯史
主事補 堺 基



開会にあたり挨拶する川崎会長

ていた出面さんに「今年で終わりにさせてください」と言われたらあきらめざるを得ない。次を探すのも難しい。

古海（日高中央）…昨年は、前年の海の状態から昆布が少ないことは予測できていた。成昆布が少ないと、出漁した時に水昆布を採ってしまう場合があるため、鵜苫地区の漁業者で多数決を取り、魚自体は4日となった。組合でも水昆布は採らないよう指導はしている。

日高管内では春先から6月までに時化で波がよく出て、大量に抜けた水昆布が海岸に寄っていた。昆布漁前で不安になったが、最近の温暖化の影響で根が柔らかくなっているのではないかと感じている。

堀（厚岸）…厚岸の昆布の取扱量は最盛期の6割ほどとなっている。高齢化と後継者不足で漁業者の数も減っており、以前は干場が足りなくなっている。昆布を干していたが、今は干場が空いている。資源の減少もあるが、燃油が高騰しているので、副業をしている人は採算が採れないと、棹前昆布漁に出ないこともある。

相原（船泊）…船泊は年々資源が減っている。一昨年は少し良かったが、台風の影響で時化が続いた昨年は全くなかった。若い人は違う魚種ができるため、昆布を取る人がなくなっている。

山崎（昆布振興）…浜中では年間6千万くらいかけて毎年雑藻駆除をしており、生産数量は安定している。海に昆布はついているが、問題は出漁日数。昨年、成昆布漁は前年の年に比べ多めの日数操業できたが、海の状態や天候で操業できなかった地区もあった。

丘作業について

《選別、乾燥》

加藤（宗谷）…宗谷には、ほたてやたこといった魚種がある。昆布は手がかかるので採る人が少なく、宗谷漁協の中でも全く昆布をやっていない地域がある。一方で、なるべく昆布を採るよう、旗揚げをなくし、個人の判断で、いつでも出られるようにしている。

雑藻駆除などはしていないが、たくさん生えており、どこかにも乾燥機があるので、ほとんど休みなく作業している。

熊谷（南かやべ）…乾燥機はみんな持っており、昆布は洗浄機にかけた後、天気が良くて直接乾燥機に入れている。出面さんを6〜7人使っているが、使わないと作業ができないので確保している。

中村（戸井）…小安地区は、天気がいい時に干せるだけ持ってきて、天日で干し上げる。干しあがったら巻いて製品化するので、巻けるまで乾かしたら倉庫に入れている。人手が確保できないため、直接乾燥機に入れている人もなかにはいる。

山形（落石）…それぞれに出面さんは手配しているが、お互いに手伝いに行ったりという形で近所を回ることある。出面さんは1人か2人で、2人いれば多いほう。それくらいなら何とか確保できている。

相原（船泊）…養殖をやっている人は島外から出

面さんに来てもらうが、天然昆布の場合はほとんど家族労働。天然昆布で乾燥機を入れている人もいるが、機械に入れるのが奥さんと2人での作業だとかえって重労働だと聞いている。

南（散布）・・・毎年出面さんが来る家も、家族だけでやっている家もあるが、1、2人くらいの出面さんはいると思う。ほとんどの家はその人数で間に合わせている。

堀（厚岸）・・・厚岸も人手不足。昆布漁は2か月で約30日出るが、加工場や他のパートをすれば間違いなく仕事がある一方、昆布は不定期。以前は昆布漁のある日は仕事にこないことが認められていた職場もあったが、最近は兼業ができなくなっている。知り合いに声をかけるなど、確保するのに苦労をしている。

濱屋（羅臼）・・・天然昆布は、養殖昆布のように長い時間人を使えるわけではないので、天然昆布の出面さんは来ない。今の若い人は昆布の選別ができない人や昆布漁をやったことがない人もいる。

古海（日高中央）・・・私の地区は沖に出て採る昆布は天日干しが基本。しかし、天候が急に変わったり、雨が降りそうだが、7分くらいしか乾いてないときは乾燥機で乾燥させる。私たちは拾い昆布にも力を入れているが、拾ってきた、きれいな状態の昆布を1本ずつ洗濯ばさみで挟んで乾燥機にかける。今後は設備投資ができれば、もう少し昆布を拾えるし、良いものが作れるのではないかと考えている。

加藤（宗谷）・・・宗谷では、1枚ずつ長い昆布を台の長さに合わせて、切って、乾燥機にかけ、た

くさん採る家は、台を7、8台使用して、生から直接乾燥機に入れ、翌朝降ろしている。我が家では、人手が少ないので、台も少なくその日のうちに降ろすようにしている。

生から乾燥機にかければ9時間ほどかかるが、私は天気がいい日は外に干し、半乾きくらいまで乾かしただけ集めて、台に乗せながら1枚ずつしわを伸ばしている。そうすると半分かくらいの時間で乾きあがる。

山崎（昆布振興）・・・若い昆布を天日で乾かすと変色するが、乾燥機を使うとそれが防げる。ただ、生から乾燥機を使うことはほとんどなく、半分かくらいまで乾かしてからかける。今は機械の性能もよくなっているの、夕方には小屋に入れることができる。乾燥機にかけてしまえば、その間は休めるし、他の作業をすることもできる。今は機械を使っても、天日乾燥と遜色のない昆布ができる。

熊谷（南かやべ）・・・洗浄機にかけた後、乾燥小屋1つで900本を乾燥させる。昆布がねじれても問題ないので、吊るして乾燥させており、早朝から昼くらいまで2つの乾燥機小屋で約1800本乾燥させる。生昆布の作業時期を終えたら、機械で柔らかくした昆布を巻き、選別できるように準備している。生昆布の作業中も昆布を切ったらすぐに選別に入り、梱包・結束し、すぐに出荷できるようにしておく。

相原（船泊）・・・天日干しにすることによって、しわになりやすいこともありドライヤーで伸ばすこともある。

加藤（宗谷）・・・利尻昆布はしわになつてはいけないうが、宗谷では、昨年からねじれた昆布を扱う規格ができた。昆布の種類によつてはどうしてもねじれてしまうので、とても楽になった。値段も大きく下がったわけではなかった。

増産に向けて

川崎（えりも）・・・昔は、資源も豊富だったのだから、1、2時まで昆布を採っていた頃の先人には頭が下がる。

増産に向けては丘回りや、その指揮を執る、浜の母さん方が重要だと思う。

効率を上げるため、私の家では皿の良い日は前浜から出入りしている。昆布に砂やごみをつけないよう、タイヤショベルでトラックに積んだり、干場まで運んでいる。

山形（落石）・・・出漁日数の問題もあるだろうが、今、選別をやりたいがらない若い人も多い。簡単な選別になれば、選別が苦でなくなるのでは。他の漁に行っていた人が、1、2日は昆布漁をするようになるのではないか。昆布は切つて積んでおけば年明けの出荷でもいい。選別が楽になつて、若い人がやってくれるのなら、資源があれば昆布漁をする人が増えるのでは。

濱屋（羅臼）・・・羅臼昆布は全ての工程に手間がかかり、選別も複雑。作業工程を短縮し、棒昆布のみとすれば手はかからない。

棒昆布であれば、これまで自分たちで行つてい

た切つて箱に入れる作業を、組合の昆布倉庫の方で全部やってくれるので楽になった。

熊谷（南かやべ）・・・天然昆布と水昆布と一緒に生えている場所はあるが、あえて採らない。水昆布を採つたら翌年の昆布がないので、採らずに次年度に残そうというところもある。

森（昆布振興）・・・天然昆布は乾燥機で乾燥させて、棒状にしたものを90cmに切り、2番切り3番切りとして選別するが、一部地域では3番切りからは選別しないで結束する販売方法をとっている。手間をかけない分、若干価格は下がるが、浜にしてみれば、早く次の仕事に移れる利点がある。

川崎（えりも）・・・えりもの場合は昆布の選別が60何種類あるが、それを半分にした場合、値段はどうなるのか。たとえば手間暇をかけても選別作業も大切なのでは。選別は5種類でいい時代が来たら、昆布という奥の深いものを逆にダメにしてしまつては。

本田（ぎよれん）・・・各地の浜で選別を簡単にしようという話が出ていて一方で、あまり簡素化しないようにという意見も出ている。値段については、生産量が減っているので選別を変えても大きく下がることはないだろう。

手間暇がかからない分、違う仕事ができる。多すぎる規格を集約しようという検討している。一方で伝統文化として維持したいという人もいる。今後は、今までのような規格で作る人と選別せずに出荷する人、両方への対応が必要だと感じている。

稚内・宗谷では昨年から試験的に選別しないで出荷する取組みを始めた。

フジッコ(株)鳴尾工場

佃煮昆布やお惣菜などを多く手掛けるフジッコ(株)。訪れた鳴尾工場では昆布佃煮「ふじっ子煮」が生産されており、こだわりの製造過程を見学しました。



フジッコ(株)
福井代表取締役社長より
ご挨拶をいただきました



佃煮昆布「ふじっ子煮」の生産工程について、選別の実演を交えながら解説



北海道ぎよれん
共販部
大湊参事

昨年に引き続き、昆布に従事する女性部の皆様にお集まり頂き、昆布漁業に関する懇談会を開催しました。

各地区の悩みや取り組み、実際に直面している

兵庫昆布海産(株)

大手昆布問屋である兵庫昆布海産(株)を訪問しました。倉庫には道内各地で生産された昆布のほか、東北地方、中国、韓国で生産された昆布が保管されており、昆布の銘柄毎の消流状況について知見を深めました。



兵庫昆布海産(株)
中山代表取締役社長から
昆布の概況についてご説明
をいただきました



多くの産地の昆布を見ることができるのは昆布問屋ならではの

人手不足や資源の減少など、日々浜で活躍されている女性ならではの観点から、様々なお話を伺うことができました。

また、北海道産昆布が減少している中、乾燥機の導入による効率化や、旗揚げをなくし自由操業に切り替えるなど、増産に向けて地区ごとに行っている取り組みを行っていることが分かりました。

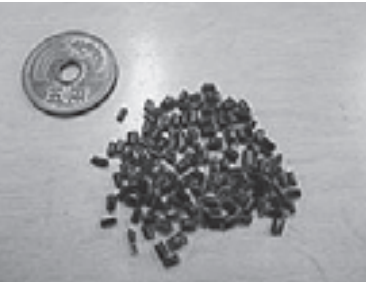
昆布漁業振興協会・ぎよれんとして、今回同ったご意見を活かし、道産昆布の増産と安定消流に向け努めてまいります。



大雨で流出・漂着した木は、その処分も大きな課題となっています



リサイクルで得られる再生油(上)とペレット(下)



廃漁網のリサイクル状況について

原料	リサイクル方法	リサイクル内容	課題
ポリプロピレン(PP)、 ポリエチレン(PE) (養殖籠)	再生油化	加熱し気化、冷却することで再生油化。 原料100kgに対し、再生油は約100リットル抽出される。	・原料となる養殖籠の処理量が少ない ・機械・加工のコストが高い
ナイロン (刺網、鮭鱒網)	ペレット化	ナイロン網を燃焼させ、溶かし固めたものをペレット化する。	ナイロン以外のPP、PEは除去する必要あり

○漁場環境の保全対策

近年増加する大雨などによって発生する流木・漂流ごみや、洋上風力発電開発に係る協議、海域・陸域双方からの油流出事故の未然防止対策の推進、大規模インフラ工事に伴う環境への影響回避のための対策などにも取り組んでいます。

特に、漁具への被害が大きい流木・漂流ごみ対策として、各地区の実態を踏まえ、関係機関一体となった流木発生抑止対策に取り組むほか、北海道漁業協同組合長会と連携し、流木対策を含む未然防止対策並びに早期復旧体制の確立等について協議し、国や道の関係機関に要請を行っています。

また、ぎょれんは、北海道漁業環境保全対策本部（略称、環境本部）の事務局としても漁場環境の保全に取り組んでおり、毎年春から秋にかけて、全道で河川の水質調査やパトロールを実施しています。

○廃漁網のリサイクルに向けた調査

脱・抑プラスチックに関する取り組みの一つとして、ぎょれんでは現在、廃漁網のリサイクルに向けた調査を行っています。

養殖籠に使用されるポリプロピレン（PP）やポリエチレン（PE）は加熱し、気化させたものを冷却することで再生油とすることができ、しかし、一回あたりの処理数量が少ないことや、コストが高いことが課題で、今後さらなる情報収集が必要な状況です。

刺網や鮭鱒網に使用されるナイロンは、専用の機械で加熱させ、溶かし固めたものをペレットと呼ばれる小さな粒に加工できます。リサイクルで作られたペレットは、プラスチック原料として再加工され、衣類や漁網にすることができ、しかし、刺し網や鮭鱒網にはナイロン以外にPPやPEが使用されており、原料とするにはそれらの除去が課題です。

ぎょれんの環境対策について紹介します



ぎょれんでは漁業環境を守るための様々な取り組みを行っています。今月は、今年度を実施した取り組みについてご紹介します。

○脱・抑プラスチックへの取り組み

日用品や漁具などを由来とするプラスチック製の漂流物は、生態系を含めた海洋環境への影響の他、船舶航行への障害、環境・漁業への被害などが想定されています。さらに、近年は、5mm以下の微細なプラスチックごみである「マイクロプラスチック」による影響も懸念されています。

世界的にも取り組みが進むなか、ぎょれんでは中長期的な視点に立ち、本道漁協系統運動として脱・抑プラスチック活動を展開しています。

その一環として、環境への意識を高めてもらうことを目的に、昨年7月に道内の漁協・漁業者へオリジナルエコバックを配布しています。



綿製のエコバッグは使いやすい大きさ

○「お魚殖やす植樹運動」の実施

豊かな森を作ることは、川を介して海の豊かさにつながることから、道内各地で植樹活動が行われています。全道ではこれまで、約120万本の苗木が植えられ、ともに、これらの苗木が大きく育つための下草刈りや枝払いといった保育活動も同時に行われています。

なかでも、平成10年から、当別町の「道民の森」で行われている「お魚殖やす植樹運動」は、現在では協同組合運動の象徴的な活動となっています。昨年6月に行われた「お魚殖やす植樹運動」植樹行事には女性連・系統並びに関連団体、道庁、コープさっぽろ、農林中央金庫、ホクレンなど30団体から150名以上が参加し、750本の苗木を植えました。



多くの人が参加して植樹が行われました



今年もたくさんの苗木が植えられます

現役時代は選手会長やキャプテンを歴任しました



北海道日本ハムファイターズ
スペシャルアドバイザー 田中 賢介氏

「Challenge with Dream」

昨シーズン惜しまれつつユニフォームを脱いだ田中賢介氏は、現役時代は走攻守3拍子兼ね備えた二塁手として活躍。ファイターズが北海道移転後、5度のリーグ優勝、2度の日本一に貢献。ベストナイン、ゴールデングラブ賞に何度も選ばれる内野の要として活躍しました。講演ではレギュラーを勝ち取るまでの影の努力や大リーグ挑戦にまつわる苦闘の日々など、順風満帆に見えた野球人生の知られざる葛藤を紹介。けれど、挑戦しなければ得ることのできない経験や教訓も飾らず語り、夢に向かって挑戦することのすばらしさを、ユーモアを交え伝えてくれました。



講演では、自身が活躍する現役時代のDVDも紹介されました

全道漁協青年部クイズ大会

毎年恒例のクイズ大会では、道漁青連、漁協組合員、虹の旗、脱・抑プラスチックやオリンピックなどの多彩なジャンルから出題。中にはNHK「チョコちゃんに叱られる」級の難問もあり、答え合わせでは歓声が上がりました。

〈北海道の漁協青年部について〉

Q1. 北海道漁協青年部連絡協議会の現在の会長は小笠原会長ですが、小笠原会長は第何代目の会長でしょう。

- ① 第15代目 ② 第16代目 ③ 第17代目

〈漁協の運営について〉

Q2. 北海道の漁協の正組合員数は5年前と比べてどのくらい減少したでしょうか？

- ① 800人 ② 1,500人 ③ 2,000人

Q3. H29年度の北海道の秋鮭回帰率は何%でしょう？

- ① 0.3% ② 1.6% ③ 4.5%

〈アラカルト〉

Q4. マイクロプラスチックは微小なプラスチックのことですが、次のうちどの大きさのものを指すでしょう？

- ① 5mm以下 ② 1cm以下 ③ 5cm以下

Q5. 協同組合のシンボルである虹の由来はなんでしょう。

- ① ノアの方舟 ② 新協同組合7原則 ③ 未来を照らす光

Q6. 2020年に開催される東京オリンピックで新たに追加された種目でないものはどれでしょう？

- ① ゴルフ ② 空手 ③ スケートボード

答え：Q1.② Q2.② Q3.② Q4.① Q5.① Q6.①



今年の大会では、クイズの上位成績者5名と、参加者抽選の当選者5名を加え10名の皆さんに、各地区会長推薦の特産水産物が贈呈されました

第57回 全道漁協青年部大会が開催



全道の青年部員が集まり交流を深めました

1月25日(土)、札幌の第2水産ビル8階会議室で第57回全道漁協青年部大会が開催されました。全道からは270名以上の青年部員が集まり、互いに交流を深めるとともに、研鑽を積みましました。



今年度新成人を迎えた7名。小笠原会長より祝福の言葉とともに記念品が贈られました(写真上)。代表して決意表明を述べる猿払村漁協 山岸蓮(れん)さん(写真下)

録的な不漁となり厳しい状況が続いています。資源の回復にむけた取り組みが、ますます重要です。

今年度は、新漁業法が施行されますが、資源管理の実践や漁業権の付与など、我々生産者が安心して操業ができる制度となるよう期待しています。水産資源の減少や海洋汚染など多くの課題があるなか、我々青年部員は脱・抑プラスチック運動の推進など浜の未来を担う者として、仲間と力を合わせ、将来に向け力強く前進していきます。



道漁青連 会長
小笠原悠葵さん

昨年の本道漁業は、オホーツクのほたて・道東のいわしに回復の兆しが見えたものの、さんま・いか・秋鮭・昆布では、記録的な不漁となり厳しい状況が続いています。資源の回復にむけた取り組みが、ますます重要です。

〈大会長挨拶〉



大樹漁協
生花苗沼 しじみ保存会
高橋 良典 氏

巨大シジミを守れ！
長期的な資源管理の取り組み



ひやま漁協
乙部支所 ナマコ協議会
日沼 賢澄 氏

目指せ、世界一のナマコ 檜山海参
新たな郷土産品に

〈研究発表〉
研究発表では、昨年度の全道青年・女性漁業者交流大会で北海道代表となった2名が発表を行いました。どちらの発表でも、その新しい取り組みに対し真剣に話を聞いたリメタを取る様子が見られました。

シークワードクイズ 3月のテーマ 「お天気用語」

カ	ユ	ク	ウ	ゴ	コ	モ
キ	ツ	イ	モ	ウ	ウ	シ
ゼ	ラ	メ	サ	リ	キ	ウ
タ	カ	ナ	ミ	ウ	ヨ	ヒ
ツ	カ	ミ	ナ	リ	グ	モ
マン	シ	ウ	ダ	ヤ	ギ	
キ	シ	ロ	オ	キ	レ	ナ

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

ミ	ラ	ス	ウ	ユ	キ	チ
マ	キ	サ	リ	キン	カ	
ヤ	オ	サイ	バ	シ	ウ	
ト	ペ	イ	ワ	チ	シ	
ハ	ツ	タ	ム	ヤ	イ	
ン	カ	ボ	キ	モ	シ	
ヤ	ミ	リ	ジ	フ	ハ	キ

2月号の解答と当選者 チャワン

(厚岸町) 高寺 ノリさん
(厚岸町) 魚大好っ子さん
(浜中町) 鈴木智恵子さん
(浜中町) 對馬 ミヨさん
(礼文町) 三上 咲空さん

3月はお天気用語がテーマです。一年中、穏やかな天候であってほしいです。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読める様になっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ ウミカゼ(海風) | ☐ タカシオ(高潮) |
| ☐ ウリヨウ(雨量) | ☐ タカナミ(高波) |
| ☐ オロシ(おろし) | ☐ タツマキ(竜巻) |
| ☐ カミナリグモ(雷雲) | ☐ ナギ(凧) |
| ☐ カラツユ(空梅雨) | ☐ ナダレ(雪崩) |
| ☐ キリサメ(霧雨) | ☐ ヒヨウ(雹) |
| ☐ クモリ(曇り) | ☐ モヤ(霧) |
| ☐ ゴウウ(豪雨) | ☐ ユキ(雪) |
| ☐ コウサ(黄砂) | ☐ ライウ(雷雨) |
| ☐ シモ(霜) | |

〈ヒント〉例年より、今年の〇〇〇団はおとなしいようです。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえると答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

リスト

- ☐ アキアジ
☐ コマイ
☐ プリ
☐ サンマ
☐ コンブ
☐ アサリ



ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

えさん漁協榎法華支所 岡山さんご家族



【岡山さんご一家】岡山 潤也さん(42歳)、琴絵さん(35歳)、咲蘭ちゃん(17歳)、美空ちゃん(16歳)、桜大くん(6歳)、和ちゃん(2歳)

※写真は潤也さんの母 由美子さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、えさん漁協榎法華支所の岡山さんご一家です。

娘の言葉が昆布へのこだわりのきっかけ

夏に水揚げ・乾燥作業を行う養殖昆布を中心に、春にはえび籠、たこ漁を行う潤也さん。以前は漁船漁業を行っており、昆布の製品加工を始めたのは父和彦さんの亡くなった3年前のこと。「最初は特に昆布への思い入れもなかったけど、長女が、自分が生産した昆布を食べて『パパの昆布なら食べられる。おいしい』と言ってきて。自分の子供に食べさせるものだからきちんとやりたいなって思ったんだよね」と嬉しそうに教えてくれました。

潤也さんがこだわりを持って生産・加工した昆布の一部は、食べる昆布として潤也さんの名前入りラベルが張られ販売されています。千切りにした昆布は妻 琴絵さんの協力もあり、動物由来の食品を一切口にしないヴィーガン(完全菜食主義者)向け食品の認証を道内で初めて取得。琴絵さんは営業も担当しており、遠方での商談会などに出向いて商品を紹介することもあるそうです。

夫婦で昆布の魅力を広める

函館出身の琴絵さん。自身もヴィーガンで、家庭の食卓でも動物性の食品が並ぶことは少ないそう。潤也さんも「体に合っていたのか、体調がよくなりました。昆布の認証も妻のおかげです」と笑います。

長女の咲蘭ちゃんは進路を考える高校2年生。ヘアメイクやファッションの業界に興味があるそう。次女的美空ちゃんはK-POPアイドルが好きな高校1年生。憧れの韓国留学を目指して、まずは英語を勉強中です。長男の桜大くんは春から小学生となる年長さん。日頃から近所の海のごみ拾いを行っているためか「気が付いたらお出かけ先でもごみを拾っているんです」と琴絵さん。

三女の和ちゃんはごはんとかわいいものが大好きな2歳児です。今年の目標を「もっと昆布のおいしさを知ってもらいたい」と話す潤也さん。夫婦で昆布の魅力をアピールしていきます。



間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なるところがあります。さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

釧路地区漁青連が帯広・釧路の小学校で出前授業を実施 子供たちへ「漁師さんの魅力」を伝えました

03

釧路地区漁協青年部連絡協議会では、平成29年から地元小学校に「漁師さんの出前授業」を行っており、本年度は4校で実施しました。2月4日(火)には、帯広西小学校で小学5年生約30名を対象に辻田副会長(広尾漁協)、杉森監事(大樹漁協)、天内理事(大津漁協)が先生となり、実際の漁現場のDVD放映や漁具・網直しの紹介、ロープワーク体験などを行いました。

今回の授業では生徒ひとりひとりに手取り足取りロープの結び方を手ほどき。最初は悪戦苦闘していた生徒たちも、最後は全員が結び方をマスター。満面の笑顔を見せていました。普段魚と触れ合う機会の少ない小学生に、漁師さんの魅力を伝える良い機会となりました。



模型を使って、子どもたちに定置網の仕組みを解説

水産の魅力を子どもたちへアピール

大谷室蘭高校でおいしい食育授業が開催されました

04

ぎょれん室蘭支店と胆振管内の女性部では、北海道大谷室蘭高校から依頼を受けて、6年前から食育授業を行っています。2月5日(水)に行われた今年度の食育授業では、地元の主要魚種であるほたて、ほっき、助宗だらについて学ぶとともに、実際に調理・試食をすることで、より身近に感じてもらいました。

この日のために用意された室蘭産ほたて、苫小牧産ほっきは生徒たちが中心となってそれぞれ殻から外し、サクサクのフライに。虎杖浜産の助宗だらは、主に女性部が腕を振るい、ジューシーなザンギに調理しました。

参加した生徒たちからは、「魚のイメージが変わった。おいしさにびっくりした」「今度は家族と料理したい」などの声が聞こえ、有意義なものとなったようです。



講師を務めた女性部の手際の鮮やかさにびっくり



ほたてやほっきのフライは初めて食べるという生徒もいました

水産政策に係る各種施策と海洋プラスチックについて研鑽を深めました

全道漁協指導部門担当者会議、漁場環境保全研修会が開催されました

01

2月13日(木)に全道漁協指導部門担当者会議(主催:漁政部)、14日(金)には全道漁協漁場環境保全研修会(主催:環境本部、豊かな海づくり推進協会)がともに札幌市のセンチュリーロイヤルホテルで開催されました。

指導部門担当者会議には約130名が参加して開催されました。全漁連より水産関係の国費予算について説明があったほか、(一社)漁業経営安定化推進協会からは競争力強化型機器等導入緊急対策事業と漁業経営セーフティネット構築事業の取り組みに関する説明が、水産庁からは漁業収入安定対策事業に係るクロマグロ強度資源管理タイプの見直しについての説明がありました。

翌日の漁場環境保全研修会では、約150名が参加して東京理科大学理工学部土木工学科片岡助教より「海洋プラスチック汚染の潜在的脅威と現状」、ニチモウ(株)資材事業本部 熊沢研究開発室長より「漁業を取り巻く環境問題(海ごみ・マイクロプラスチック)とそれを解決に導く先端技術」と題した講演がそれぞれ行われました。近年話題となっているマイクロプラスチックについての内容でもあることから、参加者は興味深そうに講演を聞いていました。



漁場環境保全研修会冒頭で、「今日の研修会は海洋プラスチック問題と漁業のこれからがテーマ」と挨拶した今漁業環境保全対策本部長

漁協を取り巻く環境や運営に関する知識を深めました

令和元年度全道漁協新任役員(理事・監事)研修会を開催

02

2月12日(水)~14日(金)の3日間、札幌市の第1水産ビルにおいて、今年度新たに就任した漁協の理事・監事を対象に「全道漁協新任役員(理事・監事)研修会」(主催:ぎょれん指導教育部)が開催されました。協同組合論、漁協運営上の留意点、水産業協同組合法(概論、理事・監事の職責)、漁協財務の見方の他、本道漁業をめぐる情勢、漁場環境保全、コンプライアンスと、時世に合わせた盛りだくさんの内容をしっかりと学びました。



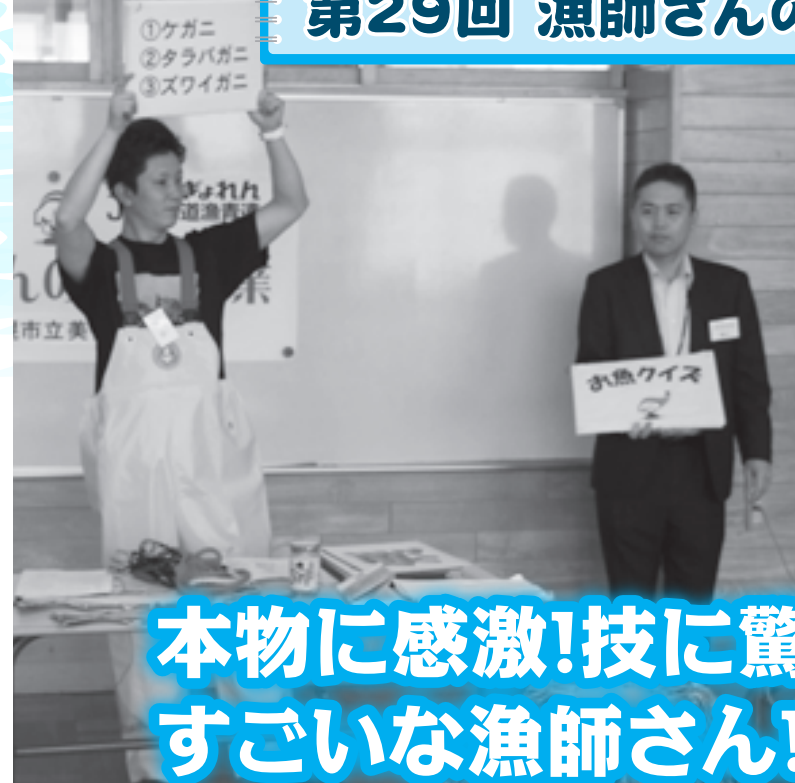
漁協の理事・監事を務めるうえで必要な知識を身に付けました



DVDで魚の様子を説明しました



定置網の模型を使い秋鮭漁の紹介



**本物に感激!技に驚き、びっくりしました!
すごいな漁師さん!**



先生の感想 4年1組 中山 遥 教諭

漁師さんの生活時間や、お仕事の様子などを見せていただき、どのように漁をして、捕った魚が自分たちの食卓に届くのかを学ぶことができました。実際に漁で使っている網の修繕や、ロープの結び方などを子どもたちも体験することができ、「こんなに早く直せるのはすごい!」と、漁師さんの技に感動している様子も見られました。授業の後半では、お魚クイズに挑戦し、漁師さんに質問することもできました。子どもたちに、図鑑のプレゼントもしていただき、「朝読書の時間にじっくり読みたい!」「魚についてたくさん知りたい!」と、とても喜んでいました。お忙しい中、漁師の方々、ぎよれんの皆様、楽しく分かりやすい授業をありがとうございました。



昭和26年開校の美香保小学校



鮭の雄と雌の区別を説明しました

漁師さんの感想



えび籠と、かに籠の違いを説明しました



プロフィール
●道漁青連 根室地区会長
根室漁協
横田 和馬さん
(えび籠漁)

私たちの話を興味を持って聞いてくれているのがわかり、うれしかったです。今回、魚の様子をDVDを使いながら説明しましたほうがより理解してもらえますね。今後は紙の資料もパワーポイントなどを使ったり工夫したいです。授業形式も体験型を多く取り入れられればもっといいのかなと思います。子供たちからは次の出前授業をすぐにやりたくなる元気をたくさんいただきました。



プロフィール
●道漁青連 北見地区会長
紋別漁協
尾崎 勇太さん
(底建網、刺し網漁)



お魚クイズはちょっと難しかったようです



はたて貝が吊るされて成長するのにびっくり!



授業の後は楽しい給食の時間です

今回、3回目の開催となる美香保小学校では、今春5年生に進級する4年生2クラスが受講者です。会場となった4Fランチルームは飾られた大漁旗やカーテンのような刺し網、吊り下げられたはたて養殖籠、さらに救命胴衣など漁業に関係するものでいっぱいでした。授業が始まる前から期待が高まります。授業では漁師さんと子供たちが車座になり、

破れた網を直す技と切れたロープをつなぐ技を披露。興味深く手元を見つめるたくさんの目、やがて感嘆の声があがりました。恒例のお魚クイズはちょっと難しかったけど、答え合わせの度に歓声が上がりました。子供たちにとって魚を見るたびに今日の出前授業を思い出す、特別な授業になりました。

2月19日(水)、札幌市立美香保小学校で道漁青連(北海道漁協青年部連絡協議会)と「ぎよれん」が共催して、通算29回目となる「漁師さんの出前授業」が行われました。参加した4年生約60人は、北海道の漁業について学ぶとともに、北海道で水揚げされるお魚クイズに挑戦。さらに漁師さんのすごい技も体験して忘れられない一日となりました。

編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん3月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

【宛先】3月24日までにお送りください。
（郵便）〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当
（FAX）011-242-3543
（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。



『今年は雪が少なくて冬が来ていないみたい』と話していたのは、ちょうど1月前のこと。積雪量は必ず帳尻を合わせてくる、と冗談交じりに言われてきましたが、まさに体感させられました。一方で気温が高いため、降る雪はパウダースノーにはほど遠い重さ。除雪の際には例年と勝手が違い、除雪スコップが雪にうまく入らないし持ち上がらない…。環境の変化が叫ばれて久しいですが、暮らしの中でその変化を明確に突き付けられたような気がしています。（矢嶋）

早く帰るより 無事を願ってる 家族がいる

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまる おたより箱



2月に入ってから雪の量が多くなっ
たが、まだ例年より少ない様です。
（小樽市 宮古知行さん）

夏になったらパパのうにむきのお手
伝いをします。早くあったかくなって
ほしいなあ。
（礼文町 三上咲空さん 8歳）

かきあげ美味しそうですね。いつも
ワンパターンなので挑戦してみたい
と思います。
（小樽市 宮古登美子さん）

春よ来い、早く来い。雪がとけて港に
船が並ぶと春が来たな、今年も豊漁
だと良いな、私の力は微力だけど毎
日神様仏様に手を合わせ祈ってます。
（猿払村 長谷川しのぶさん 62歳）

浜のおかあさんレシピ参考に食事の
仕度することがあります。これから
もかんだんておいしいレシピよろし
くお願いしますね。
（根室市 中村久子さん 64歳）

一昨年までは夫の船で昆布採りをし
てました。歳ですと船を下りました
が、寂しいところもあり考えています。
（浜中町 鈴木智恵子 73歳）

今年は雪が少なくていいですね。こん
なに雪かきしなくてもいい冬は何年
ぶりでしょうか。
（函館市 ふくふくさん 38歳）

今年も耳づりが始まりますね。夜中
12時に起きて20分車を走らせまだ
山々に雪が有り、眠さと寒さとの戦い。
その中、家族・従業員の仲の良さに救
われました。どこへ行っても仕事の厳
しさが有りますが、嫁姑の仲の良さに
心暖まる想いで働かせて頂きました。
あまり時化にならない様、事故の無い
様、祈っております。
仲良きことは、楽しいこと
（函館市 A.Kさん）（サトウハチロー書）

先日、お友達からチ力を頂きました。
その方はまめな人でチ力を開いて衣
をつけて揚げるばかりの状態になっ
ていました。私はただ揚げるだけです。
家族でパクパク食べました。とてもお
いしかったです！
（厚岸町 魚大好っさん）

今年は雪が少ないと聞かれていて、い
ざドッサリ降るとびっくりですね。寒
さもあと今月いっぱいぐらいで3月
のあたたかさがやって来るでしょう
ね。またコンブの間引きが始まり、あ
ちら、こちらでコンブのれんが見ら
れるでしょう。浜のかおりですね…。
（函館市 若葉さん 69歳）

編集後記

猛威を振るうコロナウィルス。遂に
「なみまるくん」制作現場まで影響が
出てきました。会議やイベントの開催
日時延長や中止などで当初予定して
いた掲載がなくなる事態になっていま
す。今のところ企画の前倒しなどでや
り繰りしてはいますが、先が見えず、
困りました。今は個人でできること、
不要不急の外出を控えて手洗い、うが
い、咳エチケットを励行します。（藤江）

大漁祈願！

news 浜のほつとニュース

小樽

1月下旬から石狩湾沿岸では、にし
んのまとまった水揚げが続いていま
す。今年は積雪量が少なく、時化も大
変少ない年となっています。連日大漁
に浜は活気づいていて、喜ばしい限り
です。漁期前半の水揚げ数量は昨年
に比べ2倍前後で大漁の日は夕方過ぎ
まで各番屋でにしんの網外しに追わ
れています。漁期は残り1か月足らず
ですが、このままの勢いで水揚げが続
き、多くの消費者のもとへ届いて欲し
いです。

室蘭

噴火湾地区のほたて漁も終盤と
なってきました。へい死の影響が昨年
に比べて減少していることから、水揚
げ数量の大幅な増加に期待が寄せら
れていましたが、伸び悩んでいます。
また、入札価格は製品市況の影響によ
り、昨年に比べ大きく下落していま
す。一方、助宗刺網漁がほぼ終漁とな
り、3月からは各種籠漁とかれい刺網
漁が本格化しています。市場では本鱒
をはじめ、季節の移り変わりを感じる
魚種が増えてきました。新年度も浜の
大漁と安全操業を祈念します。

根室

ほたて漁は、2月から野付漁協の外
海天・うに造成漁場、根室漁協のう
に桁漁場で漁が解禁となりました。
解禁された場所は例年サイズが大き
いことで知られた漁場で、今年も1枚
300gを超える大ぶりなほたてが水揚
げされています。一方、2月に入っ
てからは寒暖差の大きい日も増え、管内
には流氷も到来しました。皆様の安全操
業をお祈りいたします。

留萌

今月から管内各浜でえび籠漁、かれ
い漁、ほたて稚貝出荷などが始まり盛
漁期に入ります。寒さはしばらく続き
そうですが、徐々に暖かな春の訪れが
近づいています。昨年は貝毒によるほ
たて貝の出荷停止や記録的な秋鮭の
不漁など、全道的に苦難の一年でし
た。今年は豊漁の一年となりますよ
う、心より祈念しています。

函館

2月16日に「カキVSニラまつり」が
知内町にて開催され、上磯郡漁協が殻
付きかき、剥きかき等を、青年部が焼
きかき等を販売しました。当日はあい
にくの悪天候にも関わらず長蛇の列
ができる大盛況となりました。一方、
松前地区ではやりいか漁が、函館近郊
では本鱒の水揚げが始まり、徐々に市
場への入荷量が多くなってきました。
近づく春漁本格化に向け体調管理に
留意していただき、今後の豊漁と安全
操業を切に願っています。

釧路

ここ数年に比べ、穏やかな天気が続
いている当管内では、毛がに・にしん・
たこ・ほっきなど冬の主役たちの水揚
げが続いています。その中でもたこは
管内全体で昨年を超える順調な水揚
げを続けています。残念ながらたこ以
外は「順調な水揚げ」が続いていると
は言い難いですが、今後の巻き返しに
期待するとともに、引き続きの安全操
業を祈っています。

稚内

まだまだ寒さは厳しいですが、日も
長くなり、少しずつ春の訪れを感じら
れる季節となりました。オホーツク
海地区では3月よりほたて漁の漁場造
成や毛がに籠漁がスタートします。昨
年豊漁だったほたて漁が、今年もさら
なる豊漁となることを祈念していま
す。一方、稚内前浜ではなまこ漁も解
禁されます。春漁の開始時期を迎え、
浜は賑わいを見せています。今シーズ
ンの安全操業を願っています。

梶山

管内では冬の代表魚種である助宗
だらの好漁が続いている一方、春の魚
種である本鱒の水揚げも始まり函館
市場に上場され、活発なセリが行われ
ています。3月には北上してきたやり
いかが姿を見せ始め、紅ずわいがに漁
も始まります。春漁本格化まで時化の
多い日が続きますので、安全操業と今
後の大漁を願っています。

日高

今年の日高管内は極端に雪が少な
く、気温だけが低い状況が続いていま
したが、気温の上がる日も多く徐々に
暖かくなっています。さて、当管内の
毛がに漁は、東部は2月中旬、西部は3
月下旬まで操業を予定しています。当
初資源量回復が見込まれ豊漁を期待
しましたが、2月18日現在、昨年並み
の水揚げとなっています。浜ではふの
り・まつもなどを採る姿も見られ、3月
には各地つづ籠漁も始まります。春漁
が豊漁となり浜が活気づくことを期待
します。

北見

当管内では流氷が観測され、外海で
の水揚げは休漁期間が続いています。
現在はサロマ湖でのかき漁や網走湖
での氷下待ち網漁が中心となってい
て、3月からはほたての漁場造成をは
じめ、毛がに漁や底曳網漁も始まりま
す。日も徐々に長くなり、海明けが待
ち遠しい今日この頃です。今後とも安
全操業と豊漁を心より祈願します。

昆布がつや良く仕上がります

つぶと昆布のからめ煮



浜のおかあさん

レシピ

今回は「つぶと昆布のからめ煮」をご紹介します。

からめ煮にすることによってつぶと昆布の意外な相性が楽しめます。洗ったつぶの殻に盛りつけると、見た目も豪華に仕上がりますよ。

材料(4人分)

つぶ貝(ボイル)・・・4個
きざみ昆布(乾物)・・・5g ①
醤油・・・大さじ1
砂糖・・・小さじ1
おろし生姜・・・少々

作り方

- ① つぶ貝は1cm幅に切る。
- ② きざみ昆布は10分間茹でてザルで水切りしておく。
- ③ 鍋にAの調味料を入れ、つぶ貝ときざみ昆布を入れサッと炒り混ぜて出来上がり。



日高中央漁協
たかぎ 誓子さん